

平成 16 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 清水康行
 コード番号 5 0 1 6
 問 合 せ 先 総務グループ(I R ・ 広報担当)
 シニアオフィサー 八牧暢行
 電 話 番 号 03-5573-5123

平成 17 年 3 月期連結業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 5 月 12 日発表)	2,309,000	66,500	24,000
今回修正予想(B)	2,405,000	105,000	32,000
増減額(B-A)	(○)96,000	(○)38,500	(○)8,000
増減率	4.2%	57.9%	33.3%

<修正の理由>

売上高は、石油セグメントにおける原油情勢を反映した製品価格の上昇を主因として、増収となる見込みです。連結経常利益は、石油および資源・金属セグメントを中心とした全中核事業会社グループの連結経常利益の増益等により、385 億円増加の 1,050 億円となる見込みです。連結当期純利益は、固定資産減損損失、構造改革関連費用等による特別損失の増はありますものの、連結経常利益の増益等により、80 億円増加の 320 億円となる見込みです。

<セグメント別経常利益内訳(平成 17 年 3 月期連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回	今回	差異	経常利益差異説明	15 年度実績
石油 セグメント	売上高	18,100	19,000	(○)900	在庫評価益の増、石化損益 の改善等	17,510
	経常利益	300	540	(○)240		360
資源・金属 セグメント	売上高	3,200	3,560	(○)360	持分法適用会社の増益、銅 プレミアムの改善等	3,140
	経常利益	200	345	(○)145		138
電子材料 セグメント	売上高	920	970	(○)50	圧延銅箔の増販、マージン改 善等	738
	経常利益	60	95	(○)35		26
金属加工 セグメント	売上高	580	580	-	IT 関連向け箔・高機能材 製品の増販等	476
	経常利益	90	100	(○)10		73
その他 セグメント	売上高	630	410	(×)220	(株)イーエム・ピーエム・ジ ャパンの損失増等	662
	経常利益	15	30	(×)45		7
消 去	売上高	340	470	(×)130		380
計	売上高	23,090	24,050	(○)960		22,146
	経常利益	665	1,050	(○)385		537

<参考>前提条件（平成17年3月期連結業績予想）

		前回	今回	差異	15年度実績
(共通)	為替レート (円 / \$)	105	108	(+) 3	113
石油 セグメント	原油FOB (\$ / BBL) *	32.0	35.0	(+) 3.0	27.0
	パナシム市況 (\$ / t) ACPベース	700	873	(+) 173	641
資源・金属 セグメント	銅価 (¢ / lb)	115	127	(+) 12	93
	電気銅販売量 (千t / 期)	589	609	(+) 20	622
電子材料 セグメント	電解銅箔販売量 (t / 月)	2,763	2,778	(+) 15	2,375
	圧延銅箔販売量 (千m / 月)	3,950	3,976	(+) 26	3,097
	ITOターゲット販売量 (t / 月)	22.4	20.7	(-) 1.7	13.6
金属加工 セグメント	伸銅品生産品販売量 (千t / 期)	36	37	(+) 1	37
	特殊鋼生産品販売量 (千t / 期)	9	11	(+) 2	10
	高機能材比率 (%)	33%	33%	- %	22%

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

以 上